

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談

2. 日時：令和3年11月11日（木）10：30～11：20

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 技術基盤グループ技術基盤課

佐々木企画調整官

原子力規制部原子力規制企画課

片桐専門職、関口係長、加藤係長

原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）

示野事務局長、他3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

○ATENA から、前回の面談（令和3年10月28日実施）時に原子力規制庁から依頼した資料について、資料1のとおり提出があった。

○ATENA から、日本原子力学会基準「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順」の技術評価において、技術的根拠の提示が不足していたことに関し、事業者が保有するデータ等については日本原子力学会へ速やかに提示する等改善するよう事業者に求める旨の発言があった。

○ATENA から原子力規制庁に対し、令和4年2月17日に開催予定の ATENA フォーラム 2022 について、来賓挨拶及びパネルディスカッションへの対応依頼があった。

○原子力規制庁から ATENA に対し、次回の主要原子力施設設置者（被規制者）の原子力部門の責任者との意見交換会の議題に関する事業者の意向について、次回の面談で説明してほしいと伝えた。

6. 配付資料：

資料1 審査経験・実績の反映による規制基準の継続的な改善に係る確認事項について

資料2 ATENA フォーラム 2022 における原子力規制委員会委員長更田様のご来賓挨拶および原子力規制委員会委員のご登壇のご依頼について

資料3 ATENA フォーラム 2022（案）

以上